

日本とイギリスのイラク戦争検証 ーイラク戦争とは何だったのか

2016年

7月16日(土) 14:30-17:00

専修大学神田校舎5号館561教室

資料代 1,000円 (当会会員、学生無料)

※事前申込も申し受けます →<http://bit.ly/295Rj14>

情報公開クリアリングハウスが、イラク戦争検証報告書情報公開訴訟を提起して間もなく1年になります。

イギリスで行われていたイラク戦争の検証報告書が7月6日に発表される予定です。資料も含めて200万ページ以上のことです。なぜ、イギリスが検証することになったのかはイラク戦争がいったいイギリスにとって何だったのかということと一体のものです。一方の日本は、外務省が内部で検証を行ったものの、その報告書は非公開となり、現在、情報公開クリアリングハウスを原告に情報公開訴訟中です。訴訟を通じて報告書のごく一部が公開されましたが、本文は17ページというものでした。日本にとってのイラク戦争とはいったいなんだったのか。なぜ日本は本格的な検証を行わないのかを考えるシンポジウムを開催します。

イラク戦争検証情報公開訴訟と情報公開文書

1

出口 かおりさん (弁護士、イラク検証報告書情報公開訴訟弁護団)

三木 由希子 (情報公開クリアリングハウス理事長、専修大学非常勤講師)

コメント 礒野 弥生 (東京経済大学教授、情報公開クリアリングハウス理事)

セッション：日本とイギリスのイラク戦争の検証 ーイラク戦争とは何だったのか

2

笠原 敏彦さん (毎日新聞編集編成局紙面審査委員兼編集委員)

柳澤 協二さん (国際地政学研究所理事長、元内閣官房副長官補)

※他、現在調整中

3

イラク戦争の検証と報告書をイギリスはどう受け止めたのか (イギリスからのskype中継で調整中。調整がつかない可能性もあります)

主催 情報公開クリアリングハウス

tel.03-5269-1846 E-mail icj@clearing-house.org

共催 自由人権協会、専修大学文学部人文・ジャーナリズム学科

神保町駅（地下鉄／都営三田線、都営新宿線、半蔵門線）出口A2より徒歩3分